



瀬戸内の魅力を多くの人に ～観光列車「etSETOra (エトセトラ)」～

10月3日、広島から尾道を結ぶ、観光列車「etSETOra (エトセトラ)」の運行が開始されました。

往路は広島から尾道を呉線で、復路は尾道から西条を経由し、広島へ山陽本線で結ばれています。列車の外観は瀬戸内の海の「青」、海岸線から見える波の「白」がイメージされており、瀬戸内の穏やかな風景を感じさせるデザインとなっています。

列車の到着に合わせ、竹原駅と忠海駅では、多くの市民が駅のホームで手旗を振り出迎え、瀬戸内の景色を楽しむ観光客をおもてなしました。

竹原の魅力発信 in ズムスタ ～わがまち魅力発信隊～



10月11日、マツダスタジアムで、竹原市のPR活動「わがまち魅力発信隊」を実施しました。

物販ブースでは竹原のお菓子や名産品、フルーツを使用したサイダーなどを販売され、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場制限のもと開催されましたが、多くの人々がブースを訪れました。

また、大型ビジョンに、「町並み保存地区」や「たけはらファンクラブ」のPR動画が映し出され、多くのカープファンに竹原の魅力を伝えました。

ハワイとの交流へ向けて第一歩 ～未来の人材育成推進事業 (TGG)～



10月24日、市民館で、未来の人材育成推進事業 (Takehara Global Gateway) の竹原市海外派遣研修に向けた研修会を実施しました。

この海外派遣研修では、竹原市の中学生代表者がハワイを訪問することで世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成することをねらいとしています。第1回目となる今回の研修では、自己紹介や竹原市のPR方法などを英語を用いて表現する方法などを学習しました。

ティータイム

『秋深き 隣は何を する人ぞ』これは江戸時代の俳諧師、松尾芭蕉が詠んだ句です。すっかり深まった秋に、何か寂しさや人恋しさを感じている様子を表現しています。肌寒いこの季節に感じられる物寂しさも、また一つの「秋」という季節の持ち味なのかもしれませんね。🍁

※「人のうごき」は、「れんらく板」に配置しています。

市政発展のためのご意見などをお寄せください

郵便 〒725-8790 (住所不要) 竹原市企画政策課「市長への私の提案」係 FAX 22-0998

※市ホームページ「市長の部屋」内「市長へのメール」からでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただく場合があります。

発行 / 広島県竹原市企画政策課 ☎ (0846) 22-0942 FAX (0846) 22-0998
竹原市ホームページ <https://www.city.takehara.lg.jp/>



(この広報は再生紙・大豆油インクを使っています。)